

新市建設計画に対する住民説明会等での意見及び対応方針

No	意見・提言の内容	意見・提言に対する回答	新市建設計画での対応
1	大保木の診療所については、今からますます高齢化が進むので、これまで以上に充実していただきたい。	診療所については、合併すると運営主体である協議会は解散して、新市が引き継ぐことになる。新市の診療所として、現状維持で運営していく中で、その充実についても問題意識を持って検討していきたい。	P 14（文章） 地域に密着した医療サービスを安心して受けることができるよう、関係機関との連携を図りながら、地域医療体制の充実に努めます。《記述あり》
2	知的障害者のためのデイサービスセンターがこの圏域にない（今治に1箇所あり）ので、整備して欲しい。	必要性等について検討する。	P 14（文章） 障害者（児）をはじめ社会的に弱い立場の人々が、住み慣れた地域の中で充実した生活を送ることができるように、各種福祉施設の実備・充実や、その自立に向けた支援の取り組みなど、・・・《記述あり》 P 15（主要事業） 地域福祉の充実 障害者福祉の充実に 居宅生活支援体制の実備拡充 を加筆する。
3	「新市の将来像」の一番に、「安心して暮らせる医療・福祉のまち」とあるが、新市建設計画の中からは、それに対する回答が読み取りにくい。	公共料金等について、現在、調整をしているところである。しばらくお待ちいただければ、個々具体的にお知らせできると思う。	P 15（主要事業） 健康な生活の支援 健康づくり事業の推進の次を健康診査の充実として ・健康診査料の負担軽減及び診査項目の拡充を加筆、 また、子育て環境の充実 医療の充実に ・乳幼児医療費助成の拡充を加筆する。
4	加茂地区の千町・荒川の市道については道幅が狭く、50m毎に1箇所くらい待避所を設けて欲しい。	2車線化への整備は難しいが、通行状況の悪い箇所から順次整備を進めていきたい。	生活道路については主要事業としていないが、その他基礎的な事業として、財政計画に事業費は盛り込まれている。
5	東部に対する関心は持っていただいているのか。東部公園を整備する考えはあるのか。	公園の計画については、平成15～16年度の2年間にわたって西条市全体を調査し、将来の計画を策定するように、既に予算に盛り込んでいる。東部公園についても計画に盛り込み、将来整備していきたい。	P 19（文章） 公園の実備は、・・・、引き続き身近な施設の実備に取り組みます。《記述あり》 P 22（主要事業） 東部公園（総合公園）の実備《記述あり》
6	線引きの問題に取り組んでいただいているが、新市がスムーズに機能するようになるまでに、禎瑞地区は過疎が進んでどうにもならなくなるのではないかと。今後、市営住宅建設の問題が出てきたら、禎瑞小学校の周辺部にも建設することを考えていただきたい。周辺部への配慮をお願いしたい。	線引き廃止を前提として、これからインフラ整備に取り組むべきだと思う。この地域に公共下水道を導入することによって、人が住むようになり、特徴のある地域づくりができるようになる。	P 19（文章） また、農山漁村といった市街地以外の地域についても、必要な整備を進めます。 を加筆

新市建設計画に対する住民説明会等での意見及び対応方針

No	意見・提言の内容	意見・提言に対する回答	新市建設計画での対応
7	市が計画している道路や河川は合併しても事業を継続するのか。また、新設の要望はできるのか。	道路整備は意向調査で要望が高かった事項であり、合併によってひとつの市になれば、境界付近での土地利用の不整合が解消でき、これまで以上に整備が促進されると考えている。国・県の協力を得ながら順次実施に向けて努力をしていきたい。	P 19 (文章) 新市の道路については、混雑の緩和と円滑な域内移動の実現、そして市民の安全を確保するため、・・・ 《記述あり》 ----- P 21 (主要事業) 道路の整備《記述あり》
8	飯岡の交差点(11号バイパス)や、インターチェンジの降り口はわかりにくいので、改良していただきたい。	飯岡バイパスについては、国土交通省松山工事事務所から、4車線化に向けての整備をするという返事を受けている。飯岡バイパスの欠点については、国土交通省の関係機関に、地域の意見として提言しておく。	P 19 (文章) 新市の道路については、混雑の緩和と円滑な域内移動の実現、そして市民の安全を確保するため、・・・ 《記述あり》 ----- P 21 (主要事業) 道路の整備《記述あり》
9	「歴史文化の保全・活用」に関連して、市之川鉱山跡を世に出したい。	合併後、郷土資料館は今のあり方でよいのか、考古歴史館との連携を何とか考えられないかと思う。鉱山跡をどうするかを考える時、今の道路ではだめであるが、欲張って事業に着手して将来にツケを残すのかということの塩梅もある。市之川のコーナーを郷土博物館に設けることを考えるのであれば、もっと博物館を大きくしなければならないが、合併を機会に計画的に出来ればと思う。	P 23 (文章) 郷土の歴史や人材を紹介する施設の整備・充実を進めます。《記述あり》 ----- P 25 (主要事業) 郷土資料館の整備《記述あり》
10	西条小学校の体育館が老朽化しており、北中学校もかなり古いと思う。その整備を優先的に入れていただきたい。	校舎、体育館の大規模改造については、建築年次や傷み具合を総合的に判断して、合併に関係なく、年次的に改修計画を立て、順次整備を実施していく。	P 23 (文章) 学校教育の重要性に鑑み、老朽化した校舎、体育館等の設備充実を行います。《記述あり》 ----- P 24 (主要事業) 小・中学校の施設整備《記述あり》
11	禎瑞地区独自の郷土資料館を整備して、海苔の資料等を展示したい。石井秋平氏の基金を使えないか。	基金の用途は決まっているが、合併後もその目的に沿って使うなり、この際にどうするかについての西条市としての方向性をささなければならないと思う。	P 25 (主要事業) 郷土資料館の整備《記述あり》

新市建設計画に対する住民説明会等での意見及び対応方針

No	意見・提言の内容	意見・提言に対する回答	新市建設計画での対応
12	西条の中心商店街をどうするか、壬生川の中心商店街をどうするか、都市は形成されているが、人を集積する力（施設）が必要である。	産業情報支援センターを中心に「もうかる」仕組みづくりを行っている。	<p>P26（文章） 少子高齢化に対応した次代の商業機能の展開を目指し、住宅等と連携した身近な商業施設としての整備などにより中心市街地の活性化を図ります。《記述あり》</p> <p>P28（主要事業） 中心市街地活性化対策事業の推進《記述あり》</p>
13	新市建設計画の中に「水源の森整備事業の推進」を明記していることは的を得ている。過密人工林として放置されているものがかなりあり、国・県の補助事業については森林組合にお願いし、そうでないものについては合併特例債でもって水源の森整備事業を実施してほしい。森林の整備や保全に力を入れてもらいたい。	西条市は水「うちぬき」が生命線である。現在も地下水保全条例を検討しているが、この中でも水源の森の重要性を考えている。新市の「売り」として水を位置づけるからには、ぜひ水源の森整備に力を入れて取り組みたい。	<p>P26（文章） 林業については、「地域にとって貴重な水資源を涵養する」といった役割を森林が果たすことのできるように、森林の整備や保全の推進、林業の経営基盤の強化を図ります。（「造林の実施」を「森林の整備や保全の推進」に修正）</p> <p>P28（主要事業） 「森林の整備」を「森林の整備と保全」に「森林保護、造林」を「森林保護の強化、間伐など適切な森林施業の推進」に修正</p>
14	以前に観光について、ハイウェイオアシスから石鎚山にロープウェイを、という話があったが、合併を機会に完成させて欲しい。石鎚山までのアクセスを良くする事で、観光客の大幅増が見込まれ、商売、宿泊客の増も期待できる。是非これを推進してもらいたい。	要望ということで特に回答はなし	<p>P27（文章） また、石鎚山系をはじめとする山の資源を活用することで観光登山などの振興を図るほか、・・・《記述あり》</p> <p>新市建設計画へは「観光資源の整備」として掲載している。費用対効果等も踏まえた上で、新市の検討課題とする。</p>
15	「豊かな心を育てる教育・文化の創造」について、若年青少年交流館のようなものを作っていたきたい。中学校卒業くらいから25歳くらいまでの年齢の青年の健全育成のための研修施設が必要だと思う。	今後検討させていただく。	<p>P23（文章） 人材教育・活用の充実(以下を文末に追加) 青少年の健全育成にむけた施策を図るとともに、施設の整備に努めます。</p> <p>P23（文章） 生涯学習の充実(文中に追加) [3行目：公共施設の整備とともに]就学前教育・青少年教育・成人教育・高齢者教育の場づくりを進め[各種講座の...]</p>
16	西条市の中心の西条地区にも、公民館が欲しい。	公民館については、先般の西条地区懇談会の時に、合併を機会に公民館を整備したいと申し上げている。	<p>P23（文章） 教育・文化施設など関連する公共施設の整備とともに、・・・《記述あり》</p> <p>P25（主要事業） 公民館の整備《記述あり》</p>

新市建設計画に対する住民説明会等での意見及び対応方針

No	意見・提言の内容	意見・提言に対する回答	新市建設計画での対応
17	住民票の交付や図書館の本の返却等について、祝祭日でも大手のスーパーマーケット等で手続きができるように考慮していただきたい。	事務事業の効率化の観点から、住民票の自動交付機等のシステムも検討対象に入っており、行政効率としての住民サービスの向上は、新市建設計画の中でも謳われている。本の返却については、西条市では公民館等に返却ポストを設けているので、祝祭日でも返却は可能である。	<p>P30(文章) 行政サービスの効率化に向けて、情報ネットワークの構築や、行政事務の電子化を進めていきます。また、インターネットや携帯端末の活用による情報提供・手続きの実施等にも取り組みます。《記述あり》</p> <hr/> <p>P31(主要事業) 電子自治体の構築《記述あり》</p>
18	コミュニティバスを導入していただくか、ジャンボタクシーを運行して欲しい。	コミュニティバスの導入については、今日的な西条市の課題として捉えていきたい。具体的な導入時期は明言できないが、今後、問題意識をもって検討したい。	<p>P19(文章) 公共交通機関の拡充、コミュニティバスの導入等について検討します。《記述あり》</p> <hr/> <p>P21(主要事業) 公共交通機関の拡充整備《記述あり》</p>
19	C A T V等のネットを隈なく整備することによって、情報伝達や医療等の問題についても、安心できる心配りをお願いしたい。	過疎地に対する医療、福祉等といったものに目線を外すことなく取り組んでいくことが大切だと思う。	<p>P20(文章) C A T Vなど情報通信基盤の整備・構築により、地域における情報化を促進します。《記述あり》</p> <hr/> <p>P22(主要事業) C A T Vの整備《記述あり》</p>